（第三種郵便物認可）　昭和十四年一月十三日　（金曜日）　新いわき　一月十二日　夕刊　（一）

兩角部隊長の講演
明日公會堂に於て
慰靈祭を終る後二時半から
よく戰へる皇軍の實戰談

輝かしき武勳を以て歸還した鄉土部隊長兩角大佐の來平は昨紙にも報じた如く明十三日午後十二時四十三分平驛着の筈で平市では鄉軍聯合分會を初め各種團體各學校その他沿道に堵列歡迎、大佐は時局柄自動車を遠慮するので徒歩で公會堂日本間に設けられた戰死病歿勇士の慰靈祭場に入り遺族一同に慰問の言葉を述ぶる同祭式を終つて午後二時半から本館大ホールに於てよく戰へる皇軍の武勳を約一時間講演されることに決まつたが一時は講演不可能かと落膽せる市民の喜びは會場に溢るゝ聽衆を豫想されてゐる尙ほ講演後一時間の豫定で日本間に大佐を迎ふる市內有士の會食座談會を開催四時五十分同所出發平驛午後五時五分發で歸京の途に着くと

平小鐵片濱線期成同盟會の陳情上京
七千名の署名調印漸く纏まる
凄味を帶ぶる眞劍な運動

平小鐵の片濱線を熱望する期成同盟會の猛運動は夙に市外沿線關係鄉民を擧ぐる活動に既報せる約七千名の署名調印が漸く全部の纏まりに近づき昨十一日夜有士及び各區長を會して打合せの結果前記を連署する陳情書を携へ明後十四日關內縣議、大嶺、多田井兩市議、井上貞次郎氏等の代表上京を決した平市では更に鈴木光吉、吉田伍平、吉田寅之輔各市議及び木瀨研古區長外數名が加はるものゝ如く片濱街道各關係地元からも同樣陳情團上京の筈でこれを在京同志關係者とが相呼應する今回の運動こそは凄味を帶ぶる程の眞劍さであるから要路者の考慮を深むるものが少なくあるまいと云はれてゐる

石城の縣議補欠戰
無競爭は困難らし
政民の妥協は出來そうだが
養正會の齊藤氏がある

小松幸氏の死亡による石城郡の縣議補欠選擧に對する政民兩派の態度は既報の如く時局柄無益な競爭を避くるため政友側では民政に席を譲るであらう實情下に候補者を物色されてゐるが同派では小松氏出身の郡南蕃菊田方部に其の人を選ぶとして赤津修一氏外數氏を上げられてゐるが何れも今秋の總選擧に條件を除かれす補欠選擧が政友派との妥協成るやの故を以て望まれる出馬が次期選擧に問題を遺す樣ではとの懸念があるためこの際郡部會長鷲浦昇氏を推すことの無難を語られ結局其所に落着くものでないかと見られてゐる斯て無競爭かと云ふのであるが選擧に每立候補する立憲養正會の齊藤兌（玉川村）氏が默座しない模樣なので競爭免かれずとも見られてゐる

市公會堂通りの舖裝路と暗渠工事
明年度早々施行の計劃

平市では市制施行以來街路の美化に力を入れ各區地元民の自發的な出費を加へて施行される舖裝は漸次近代都市の體目を上げつゝあるが東北に誇る公會堂を竣功せる附近の部民に望まれてゐた字鍛冶町萩原齒科醫院角から公會堂前に至る延長八十五間（幅四間半）の道路舖裝は念よ明年度早々施行され筈るで尙ほこれと同時に會堂西裏の明渠をヒューム・パイプの埋設（延長四十三間）で暗渠に改造これによつて公會堂の敷地が約四十三坪を增加する見込みであつて堂の周圍には適當な植え込みを添えられるものゝ如く附近の美化は更に休裁を引立たゝしむるものがあるであらう

護國の柱

◇根本吉助伍長、石城郡植田町後田出身騎兵伍長根本吉助君は南支方面で武勳を立て病に冒され○○陸軍病院に治療中の一月一日遂に死亡せる旨公電さる、實家は豆腐屋で父淺之助（五九）さん母ちか（五五）さんと兄鉦一（二四）さん夫妻がある同伍長は警視廳巡査で滿州事變にも活躍した勇士である

常識講座

ショーヴイニズムは排外主義、反動的、排外的、侵略的愛國主義の意、ショーヴイングは拳闘用語で相手の樣出して來る腕を其時に應じて左右、上下に手殿しく拂ひ除ける防禦法

平驛十一月の貨物
蜜柑と塩鮭類激減
發着共に宅扱小口扱は增加
前年より六百圓弱增收

戰勝の祝新年を直前せる平驛昨十二月の貨物の動きは發送三六八九噸（前年同期四一四九）到着一六九七二噸（前年同期二二三二五）で著しく量を減じたが收入一萬三千九百五十三圓は前年同期より五百七十一圓の增であつた增減せる物資の主なるものを上ぐれば左記の如く總じて減少する發送の中に鐵及び鋼製品は時局的影響で七十六噸を增加し到着では期節物の鹽鮭類が七十一噸、蜜柑が百十六噸を減少したのが目立つて見えたゞけ一般貨物のみは躍進や悲觀させない其の惱めに發着共に宅扱及び小口扱を增加し發送の宅扱一五噸增、小口扱三九三噸增を示し收入增は其の結果（小口の增收三九一圓）であつて到着の宅扱にも二六噸小口扱二四一噸並に噸扱ひに於ても七二噸何れも昨年同期よりは增加であつた

▲發送貨物木材四七　木炭一二七　石炭一七五　鐵屑一五三　鹽八五　肥料一九九噸（何れも減少）▲到着俵米四九　野菜（玉葱類）九一　木材五九七　肥料一〇五　鹽二〇三　陶器一七五噸（何れも增）蜜柑一一六　鹽鮫類七一　石炭六一二〇噸（磐炭發送驛所關係）何れも減

戰地の便り
戰は是からだと感を深く致します

平市三倉出身　坂本　仲家

拜啓、初冬の期に臨みました、御一同樣には其の後御壯健にて御勤めの由御喜び申上げます、御蔭樣にて小生も至極元氣にて職務に精勵致して居りますから何卒御安心下さい、十月二十七日御手紙有がたく拜見致しました、感激に堪えません筑波山神社の御神符有難く拜受致しました、仰せの如く漠口、廣東陷落は洵に祝福の至りに存じます、然しながら蔣政權潰滅までは我軍としても進擊して止まる所なく戰は是れからだとの感を深く致します、小生等も一死報國の決心を新たにしつゝ軍の特別任務に精勵の覺悟で御座います尙ほ留守宅を色々と御慰問下され深く感謝致して居ります、何分宜敷御願ひ致します、昨日高橋所長殿より御慰問狀を頂き直ちに御禮狀を差上げました、高木樣外皆々樣へよろしく御傳へ下さい、先は任地より御一同樣の御健康を御祈り致します、

二小學生顯彰
銃劍の善行兒童

石城郡山田村小學校の高二女生遠藤須滿子（一五）さん同尋四男生澤田廣（一二）君は此の程銃後の善行兒童として村報に掲載し戰線の勇士達に送られたが須滿子さんは父宇一氏の出征後母愛子（三七）さんが祖父富喜（六三）並に幼兒六人を抱へて農事に勵んでゐるを扶け弟妹の世話から家事一切を引受けてゐるもの廣君は父虎夫さんが八年前に死去し母ふぢのさん（四四）が雜貨商を營み三兒を養育して呉れてるのに感謝し登校前每朝商品を求めに一里余の植田町まで自轉車で往復し歸校後は注文取や配達に駈廻つてゐる僅か十二才の少年の涙ぐましい働き振りである

上水道の凍結豫防
市水道部から注意の數々

平水道部では數日來の猛寒にて給水栓の凍結その他破裂を續出し事故頻繁に水道工夫總出動を以て尙ほ足らぬ忙殺に面喰つてゐるが凍結の故障は各家庭の防寒裝置によつて或程度まで緩和されるもので今後尙ほより以上の猛寒が來ぬとも限らず各家庭に對し左記の注意を促がされてゐる

▲給水栓の凍結豫防、給水栓が屋內にあるものでも蛇口から水栓柱全体を莚又は不用綿毛布類で包むこと、屋外から屋內に蛇口だけ出てゐるものも同樣に包むこと、屋外給水栓は特によく莚等で包むこと、二階三階等に給水管の立上つてゐるもので特に水拔栓が裝置されるものは使用後必ず水拔を忘れぬこと、メートル器が屋外にあるものは其所から結凍するから古俵樣のもの二、三枚を覆にせ殊に北向のものは注意を要す、

▲解凍の方法、給水栓が凍結した時は綿布類を當て上から間接に熱湯を注ぎ若し熱湯を直接かけると破損の惧れがある、量水器「ボックス」の前後が凍結すると多いから「ボックス」に溫湯をかけること、

▲破損漏水の場合、工合の悪い給水栓その他の事故は四二七へ電話せば即時修繕に行く、破裂が各所に一時にあるので係員が駈つけるまで綿布其の他で漏水を一時防ぎ置くこと、

▲放流、凍結豫防のため終夜小量づゝ放流することは弊害が多いのみならず違背行爲であるから特に注意すること

御誂物御用命は
高橋洋服店
平三豐三六

水道委員會

平水道委員會は今十二日午前十時から開催、仙台鑛山監督局支局の給水工事寄附施行の件につき協議した

目下施行中の工事に關し臨時委員左記七名の選擧を行ふと

▲小名濱二名　玉川　泉　渡邊　上遠野　植田各一名

工場職工の鉛管ドロ

石城郡鄕村の昭和人絹工場職工渡邊止義（三三）は去る三日から七日まで前後數回にわたり工場倉庫から鉛管三貫二百匁を窃取し十日植田署に檢擧

産業欄

蒟蒻の反當純益八百圓

群馬で多收穫の記錄

昨年秋群馬縣蒟蒻栽培多收獲で一等一千三百卅八貫の反當日本新記錄を樹立した下仁田蒟蒻の產地北甘樂郡尾澤石字星尾飯野元松氏の栽培法は各方面から調査研討されてゐた同村農會ではこの驚異的日新記錄が如何にしてつくられたかを次の如く發表した、即ち多收獲主因は栽培地が蒟蒻栽培に好適であつた上種玉の嚴撰と消毒の徹底によるものである、

同地方は下仁田蒟蒻の名產地で栽培好適地であるが此の栽培地は東南面傾斜地で礫質壤土、排水可良の最條件を備へてゐる▲種玉は前年十月下旬掘取り根は着土を其まゝ落さず住居の二階に莚類に包んで貯藏、凍害を防止、二年芋、反當二百四十貫▲植付は種芋を四月中旬畑に運び同月廿日に畦幅二尺、株間一尺八寸、深さ五寸位に植付け▲肥料は反當に大豆粕十九貫、過燐酸十二貫、硫加四貫、硫安二貫を元肥とし、六月上旬發芽を待つて全肥の六割を施肥、除草をなし其の上に乾草(刈敗草二百貫位)を撒布直接芽根に當る日光を防ぎ七月中旬第二回目の施肥四割を施した▲消毒は反當ボルドー液四升を用ひ七月上下旬また八月上、下旬と九月上旬の五回にわたり八斗宛を撒布▲收益は反當一千三百三十八貫(親芋一千二百七十六貫、小芋六十二貫)時價一千一百圓▲支出は種芋二百四十圓、肥料三十圓、消毒三圓、地代(小作料)二十五圓、人夫十圓、農具償却一圓五十錢、以上合計三百九圓五十錢▲勞力及び純益は勞力三十圓、純益八百六十圓五十錢(終り)

藤沼醫院
七〇五番電話　平市紺屋町

債券公債両替金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

專門
皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間　午前八時より　午後九時まで
江尻醫院
醫學博士　江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番

醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

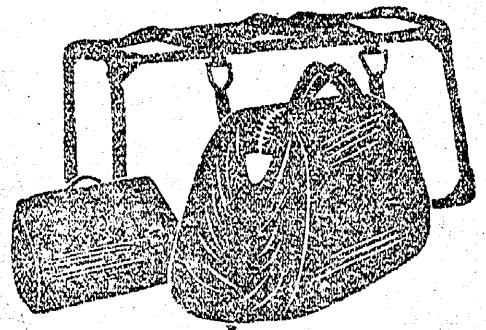
お醬油は……ヤマフル
平市紺屋町
山崎合名會社
電話　本營業部　一七〇番

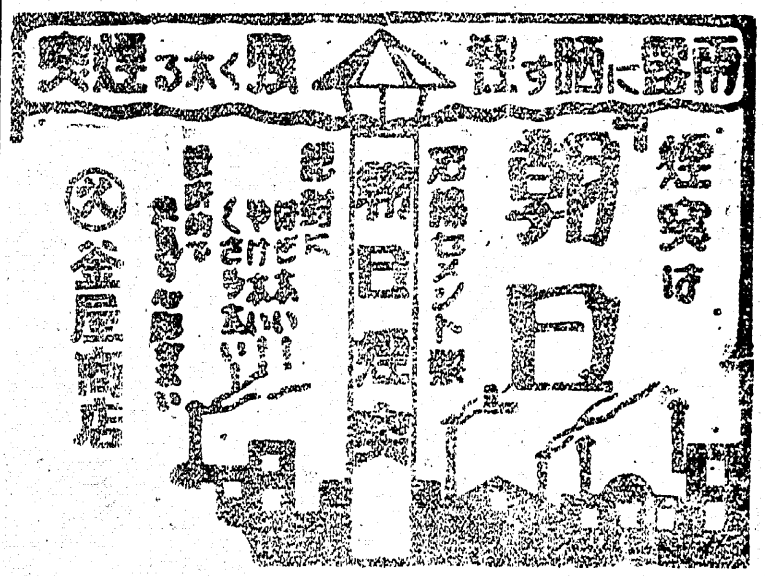
デーリーサービス
特にマルトモのランチは……
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御撰め出來ますので御滿客樣からいつも御好評を蒙つて居ります
御來店御召上りの時も御來客樣用仕出しも承つて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います

日	品目	價定	品目	價定
月	カツレツ	三〇	チキンライス	三〇
火	ポークチヤップ	三〇	カツ丼親子丼	三〇
水	エビフライ	四〇	ハヤシライス	三〇
木	メンチボール	三〇	オムライス	三〇
金	コロッケフライ	三〇	ハムライス	三〇
土	ビーフテキ	四〇	カレーライス	三〇
日	ランチA	四〇	以上の御飯は御自由にて御上りあります	
〃	〃B	三〇		
〃	C	二〇		

RESTAURANT MARUTOMO
平市停車場通　電話二三番　マルトモ食堂

根本產婦人科醫院
平市南町　(入院隨時)
根本莊次郎
根本貞雄

カバンと洋品類

平市新道通(前驛通り)　眞砂屋　(電話五六)



病室增築、手術室完備
產科　醫學博士
婦人科　五十嵐雄一
平市新川町「電話二六九番」

電話五九二番
に變りました
食事。
喫茶。
酒場を兼ねた。
レストラン　サロン
平市銀座街

請負業者の大勝利
安藤先
平市紺屋町　電話五三番
出野薬舗製品

國民精神總動員
(日本國民必見の書)……
內閣情報部發行
寫眞週報
1部10セン
お取次致して居ります
平二　西村屋藥局　電三

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社